



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	久多里, 文也; 上家, 和子; 辻, 隆司 他
Citation	makoto. 2016, 173, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85654
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

❀ 新年のごあいさつ ❀



一般財団法人 大阪防疫協会

理事長 久多里 文 也

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は何かとお力添えを頂き有難うございました。

本年も変わらずご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

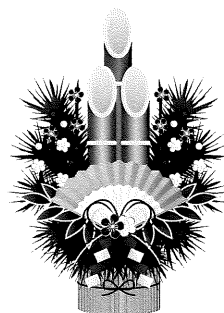
さて、世界の情勢は日々複雑さを増し緊張が高まっておりますが感染症におきましても今や国境は無くいつどこでどのような感染症がどのようにアウトブレイクするかわからない状況でございます。西アフリカでアウトブレイクをしたエボラ出血熱もようやく終息されようとしていますが、デング熱の感染率が世界的に急増しておりほかにもマラリアやチクングニア熱、ウエストナイル熱、マーズなどの感染症が脅威となっています。また、国内におきましても一昨年多くの罹患者が出ましたデング熱の感染が昨年は一例も報告されておりませんが、徐々に罹患者が増えている

マダニ媒介のSFTS、新型ノロウイルス（GⅡ.17）、人食いバクテリアと呼ばれるSTSS、エンテロウイルスD68など重症化する事もある多くの感染症が危惧されていてこれらの感染症の治療薬やワクチンが待たれています。

ワクチンと言えばWHOが昨年11月、世界で麻しんによる死者がワクチン接種の普及で2000年～2014年で79%減少しこの間にワクチンで推定1710万人の命が救われたとしています。我が国でも昨年3月に麻しんについて、土着株が存在しない排除状態にあるとWHOが認定されています。

地球上で、人々の命や暮らしを奪う兵器を持つのではなく世界中の病原体と戦い破壊するワクチンと言う武器を持つことが出来たらと願わずにはられません。

今年が、皆様方にとりまして素晴らしい年でありますことをお祈りいたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。



❀ 新年のごあいさつ ❀



大阪府健康医療部長

上 家 和 子

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、本府の感染症対策に格別のご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。本年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

昨年は、大阪府ではマダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の感染例の報告はありませんでしたが、全国的には引き続き発生し、残念ながら死者も出ました。まだまだ啓発の必要があると痛感しています。

また、一昨年国内発生し大きな関心事となったデング熱については、昨年、厚生労働省が「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」「デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き 地方公共団体向け」を公表しました。府では、この予防指針と手引きに基づいて、市町村との連携のもとサーベイランスを実施し、府民への啓発など、対策を強化しているところです。

こういったなか、昨年2月、公益財団法人大阪公衆衛生協会との共催による講演会《あ

なたを狙う今話題の感染症》において「デング熱とSFTS」をとりあげられるなど、時宜を得たご活動をなさっていることには、大いに敬意を表します。

一方、国内常在化してしまいましたセアカゴケグモ対策では、厚生労働省の研究班を中心に、抗毒素血清開発が進められています。これまでも7月8月の対策月間の活動にご協力くださいましたところ、本年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

まだまだ防疫上、環境衛生上の課題は山積で、さらに国際化の進展に伴い、新たな課題も出てくるかもしれません。

貴協会におかれては、本年も、これまで培ってこられた防疫に関する豊富な経験と技術をいかんなく発揮され、感染症の発生、まん延の防止にご尽力くださいますよう、ご期待申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展とみなさま方のご健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



❀ 新年のごあいさつ ❀



大阪市健康局
生活衛生担当部長

辻 隆 司

新年あけましておめでとうございます。
一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

貴協会の皆様方におかれましては、市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、防疫に関する相談事業など、日頃より社会貢献に取り組まれ、御努力されていることに深く敬意を表す次第であります。

昨年は、台風による影響で茨城県鬼怒川の堤防が決壊し大規模な浸水被害が起きる等、全国各地で局地的な豪雨や地震といった自然災害に見舞われました。

また、一昨年には、約70年ぶりにデング熱の国内感染が発生しましたが、昨年は海外で感染し日本国内で発症した患者数が、歴代最多となるなど、今後もデングウイルスの国内への侵入が危惧されております。

貴協会の永年にわたり培ってこられた防疫対策・衛生害虫獣の防除に関する豊富な知識と経験はこれら災害や感染症に対して心強いものであり、今後ますます重要となる危機管理の分野において、専門的な見地から地域を支え、緊急時における住民の安全・安心の確保に御尽力頂くとともに、公衆衛生の向上に寄与頂きますよう期待申し上げます。

さて、大阪市では今後も市民生活の向上、大阪の活性化、財政基盤の安定を確かなものとするために取り組むとともに、安全・安心な生活衛生の確保に力を注いでまいりますので、公衆衛生の向上のために御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます

❀ 新年のごあいさつ ❀



堺市健康福祉局
健康部長

北 出 法 正

新年あけましておめでとうございます。

久多里理事長をはじめ一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに平成28年の新春を迎えられ、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

昨年は過去稀にみる火山噴火による災害や爆弾低気圧、台風、河川氾濫による水害などで日本列島がかなりのダメージを受けました。なかでも、「平成27年9月関東・東北豪雨」では、鬼怒川の河川の氾濫をはじめ関東・東北地方に甚大な被害をもたらしました。我々は危機管理の観点からも、このような様々な災害を常に想定し万全の対策を講じなければなりません。一方、明るい話題と言え、北里大学大村智特別荣誉教授がノーベル生理学・医学賞を、東京大学教授・東京大学宇宙線研究所梶田隆章所長がノーベル物理学賞を受賞され国民に希望を与えてくれました。また、ラグビーワールドカップでは日本代表チームが歴史的勝利をあげ、大きな感動を与えてくれました。

本市では、政令指定都市の権限と財源を活かしながら、市民が「ふるさと堺」に誇りを持ち、「堺に住みたい」「堺に住み続けたい」と感じる、堺らしい自由・自治のまちづくりを進めております。健康医療の分野におきましては、平成27年7月1日に念願であった三次救急・高度専門医療を提供できる「堺市立総合医療センター」が開院いたしました。堺市立総合医療センターの同一敷地内には、医療機関と消防機関が連携し、スペシャリストの救急救命士を育成する「堺市消防局救急ワークステーション」があり、特別な機能をもつ救急隊として活躍しています。また、休日・夜間に子どもの初期診療を提供している「堺市こども急病診療センター」を整備しています。この3施設の連携により一層の救急医療体制の充実を図るとともに地域医療・災害医療・感染症医療における拠点病院として中心的な役割を担ってまいります。

これからも「健康都市・堺」のスローガンのもと、市民の安全・安心を確保するため、健康・保健・予防施策の充実に取り組んでまいります。貴協会におかれましては、これまで培ってこられた豊富な知識・経験と高度な技術を活用していただき、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



東大阪市健康部長

河内 俊之

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年9月には、関東、東北地方を中心に豪雨による河川の氾濫や堤防の決壊などが発生し、大規模な被害がもたらされました。このような豪雨による被害が毎年のように発生しており、災害発生時における関係機関等との連携の強化が益々重要となります。本市では昨年度より浸水地の消毒対策事業として、消毒を迅速に実施できるように消毒薬の備蓄と消毒器の確保に努めるとともに、市民自らが浸水した家屋内の消毒対応が行えるように各地域自治会等と連携し、消毒に関する講習会を実施しております。

さて、本市は昨年3月、平成22年度から続けてきた誘致活動が実を結び、ラグビーワールドカップ2019の開催地に決定しました。会場となる東大阪市花園ラグビー場におきましては、国内だけではなく海外からの多くの観客に対するデング熱等の感染症予防の観点から、感染症媒介蚊の発生状況の継続的な観察を実施し、蚊の防除体制の整備・強化を図っております。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や公衆衛生に関する豊富な知識と経験、高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



高槻市健康福祉部長

西田 誠

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、デング熱の国内感染や、西アフリカにおけるエボラ出血熱の流行、韓国におけるMERSの発生等により、感染症に対する市民の不安は一層高まっております。これらの感染症対策のためには、日常的な防疫活動や衛生管理体制の整備が重要です。

こうした中、貴協会におかれましては、感染症の予防及び公衆衛生の向上のため、長年にわたり社会貢献に取り組まれていることに對し、深く敬意を表する次第です。

本市におきましても、広報誌や市ホームページ等を活用して積極的に感染症予防の啓発に努めているほか、昨年は市内でのMERS等の患者発生時に備え、国や大阪府との連携のもと、感染拡大防止のための体制整備を図ったところでございます。

さて、本市は「高槻市総合戦略プラン（第5次総合計画）」に健康寿命の延伸を掲げ、公衆衛生分野においても積極的な施策展開を図っております。中でも、平成26年度に開始した、成人及び中学2年生対象の「ピロリ菌対策事業」、平成27年9月1日から実施している「がん検診受診料（自己負担）の無料化」については、全国でも数少ないトップクラスの取り組みであると自負しており、より住みやすい高槻市となるよう、今後も様々な保健衛生施策に取り組んでまいりたいと考えております。

貴協会におかれましては、長年にわたって培ってこられた豊富な知識、経験と高度な技術を発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



豊中市健康福祉部長

直 川 俊 彦

新年あけましておめでとうございます。
新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、関東・東北地方に甚大な被害をもたらした豪雨災害が発生し、また、免震ゴムや防振ゴムのデータ改ざん問題やマンション基礎ぐい工事問題など建築物等の安全性に危惧が広がる一年となりました。さらに、韓国における中東呼吸器症候群（MERS）への対応など感染症に関する関心も集まり、その重要性が再認識されました。

そのような中、市民の安全・安心を確保することは、基礎自治体の最大の責務といっても過言ではなく、本市では、「安全で安心して暮らができるまち」を基本政策の一つに掲げて、市民の皆様が健康でいきいきと安心した暮らができるまちをめざして、取り組みを進めております。特に地域での防犯・防災活動の支援も併せた地域福祉の充実、新型インフルエンザ対策等健康危機管理体制など様々な取り組みや強化を図っております。また、昨年からは本市ではウエストナイル熱に対する監視のため媒介蚊サーベイランスとして、蚊を捕集するトラップの設置場所をこれまでの1か所から4か所に、回数を7回から8回に増加し実施して、さらに蚊媒介性感染症に対する監視の強化に努めております。

このように危機管理体制の充実がますます重要となっている中、貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかに発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と、あわせまして、会員の皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたします。

❀ 新年のごあいさつ ❀



枚方市健康部長

人 見 泰 生

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

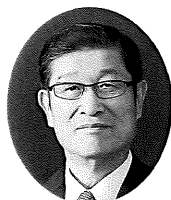
さて、昨年5月には、韓国において中東呼吸器症候群（MERS）コロナウイルスの感染拡大が見られ、患者の発生と死亡例が報告されました。また、昨年はデング熱の国内感染は確認されませんでした。海外で蚊に刺されて国内でデング熱を発症する輸入例は、全国で200件以上報告されており、防疫体制の整備が重要であることを再認識する一年でした。

本市におきましても、従来から実施していたウエストナイル熱等媒介蚊サーベイランスの強化や、身近な生活環境での蚊発生源対策について市民啓発を行ってまいりました。さらに、昨年11月16日には蚊の駆除業務等の協力に関する協定を大阪府ベストコントロール協会と締結し、発生時における蚊の駆除体制の整備・強化を図り、蚊媒介感染症の発生に備えているところです。また、これらの感染症発生時に迅速に対応できるよう、危機管理体制の再点検を行うとともに、医療機関をはじめとする関係機関との連携強化を図っていきたく考えております。

貴協会におかれましては、これまで培ってこられた防疫に関する豊富な知識、経験と高度な技術を遺憾なく発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



一般財団法人
阪大微生物病研究会

理事長 山 西 弘 一

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当財団のワクチン事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、WHOより日本が麻しんの排除状態にあることが発表されるという喜ばしい出来事がありました。また、国は2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに風しん及び先天性風しん症候群を国内から排除することも目標としており、先天性風しん症候群がテレビドラマの題材としても取り上げられる等、世間の関心も高くなってきています。しかし、外国との人の往来がより多くなっている近年、麻しん排除状態といえども感染症の輸入も十分に考えられるため、継続したサーベイランスと高い予防接種率の維持が重要です。

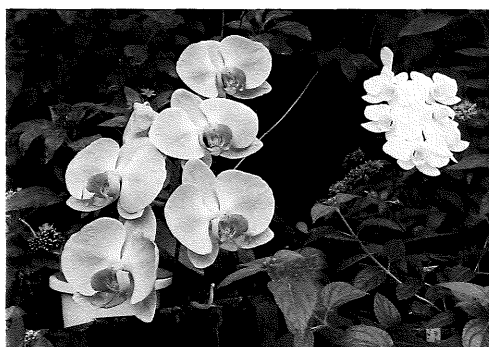
当財団では、「優れたワクチンを通じて世界中の大切な生命を守る」をミッションに、麻しん風しん混合ワクチン（MR）を始め、昨年お陰様で定期接種化1周年を迎えた水痘ワクチンや、インフルエンザワクチン、並びに公衆衛生上も安全な弱毒ウイルス株（セービン株）を用いた4種混合ワクチン等の安定供給に努めています。ワクチン接種によって守れる個々の生命（いのち）があることをご理解いただき、今後も皆様のお力添えをよりしくお願いいたします。

また、国立感染症研究所と共同で、経鼻投与型不活化インフルエンザワクチンの開発や、大阪大学と提携して、臨床分離株の96%以上に対して有効なユニバーサル肺炎球菌ワクチンの開発等を行っており、今後も皆様のニーズに応じた新たなワクチンの開発にも一層努めてまいります。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



日の出



胡蝶蘭



オオゴマダラ



タテハチヨウ科